

## 常任委員会 年間活動計画作成について

### 1 部局所管事項概要調査

5月20日（金） 環境生活農林水産常任委員会

### 2 年間活動計画について協議

- (1) 前期の委員会における委員会活動評価総括表及び部局の所管事項概要説明の内容等を踏まえ、向こう1年間の活動内容について協議する。
- (2) 重点調査項目を選定し、各項目について、いつ頃、どのような方法（例：執行部説明、参考人招致、県内外調査、委員間での議論など）で調査を行うか協議する。
- (3) 県内外調査の日程、調査したい項目について協議する。

※参考：年間活動計画書

※委員会が活動していく中で、年間活動計画に変更が生じた場合は、その都度、年間活動計画の修正を委員会で協議する。

### 3 年間活動計画書の作成

2での議論を踏まえ、正副委員長が年間活動計画書を作成し、委員に配付する。

環境生活農林水産常任委員会活動評価総括表（平成27年度）

資料2

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- (1) 年間活動計画の進捗度
  - ・県内県外を問わず現地に行くことは良いと思う。
  - ・県内調査については、常任委員会の所管する事項によって性質が異なるため、回数や日程について柔軟な対応が必要ではないか。特に環境農林は現場を見るべきである。委員が共通認識を持つことが大事である。
- (2) 委員会運営の円滑度
  - ・適切に運営された。
- (3) 議員間討議の充実度
  - ・賛否が分かれた時など案件によっては活発に行われた。
  - ・自然に議員間討議が行われて良かった。
- (4) 県内調査の充実度
  - ・重点調査項目のうち、獣害対策については県内調査ができなかった。
  - ・県内調査は1泊2日で実施したが、もう1日欲しかった。
- (5) 県外調査の充実度
  - ・中身が濃く良かった。
  - ・視察先も適切だった。
- (8) 施策への反映度
  - ・みえ県民カビジョン・第二次行動計画では、意見に対して修正があり、反映された。
- (9) 調査・審査への活用度
  - ・今年度の議員勉強会のテーマは当委員会ではあまり活用できなかった。

2 各委員（理事）の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。	3.9
	重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。	
(2)委員会運営の円滑度	年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。	4.4
	(その他、評価の理由等(自由記載))	

項目	評価の視点	平均点
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) [ 議案によってですが、充分活発に討議された。 ] [ 議案によっては、積極的に行った。 ]	3.6
(4)県内調査の充実度	県内調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) [ 当委員会の所管事項について、もう1日必要であった。 ]	4.4
(5)県外調査の充実度	県外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) [ ]	4.4
(6)参考人招致の活用度 (参考人招致を行った場合のみ評価)	参考人の意見は調査・審査の参考となりましたか。 参考人から十分な調査を行うことが出来ましたか。 参考人招致における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) [ ]	-
(7)公聴会の活用度 (公聴会を開催した場合のみ評価)	公聴会での意見は調査・審査の参考となりましたか。 公聴会では十分な調査を行うことが出来ましたか。 公聴会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) [ ]	-
(8)施策への反映度	調査・審査の結果、特に重要な事項については執行部に経過報告を求めましたか。 執行部に経過報告を求めた事項について、その後の経過確認を行いましたか。 調査・審査の結果は執行部の施策等に反映されましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) [ ]	3.5
(9)調査・審査への活用度	議員勉強会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) [ ]	3.9

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くてきた、4点・・・良くてきた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)

平成28年5月20日現在

1 所管調査事項

- ・生活文化行政の推進について
- ・環境保全の推進について
- ・廃棄物対策について
- ・農業の振興対策について
- ・林業の振興対策について
- ・水産業の振興対策について

2 重点調査項目

- (1) (※昨年度) 性別・国籍等を問わず、すべての人が暮らしやすい社会づくりについて
- (2) (※昨年度) もうかる農林水産業と獣害対策について
- (3) (※昨年度) 農林水産業の担い手育成について

3 活動計画表

重点調査項目	平成28年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成29年 1月	2月	3月	4月	5月
(1) (2) (3)  <調査方法> ・当局から説明聴取 ・参考人招致 ・県内外調査 ・委員間討議 など	常任委員会 所管事項説明 (5/20)	常任委員会 議案の審査、 所管事項の調 査等 予決分科会 補正予算等 (6/21, 23)	県内調査 (7/25 ~ 27 の間)	県内調査 (8/3 ~ 5 の 間)	県外調査 (9/5 ~ 7 の 間)	常任委員会 議案の審査、 所管事項の調 査等 予決分科会 補正予算等 (10/5, 7)	予決分科会 平成27年度歳入 歳出決算、 所管事項の調査 (当初予算編成に 向けての基本的 な考え方) (11/2)	常任委員会 議案の審査、 所管事項の調査 等 予決分科会 補正予算等 (12/12, 14)			常任委員会 議案の審査、 所管事項の調 査等 予決分科会 当初予算、補 正予算等 (3/●, ●)		
執行部の主な予定		成果レポート (案)				一般会計・特 別会計決算  平成29年度経 営方針(案)	当初予算の考え 方	当初予算要求状 況		当初予算案	平成29年度 経営方針		

4 県内外調査について

(1) 県内調査

- 7月25日～27日の間(日帰り) ○○の取組等の調査を行う。  
8月3日～5日の間(日帰り) ○○の取組等の調査を行う。

(2) 県外調査

重点調査項目を中心として、他県の先進的な取組について調査を行うことができる。  
実施する場合は 9月5日(月)～7日(水)(2泊3日以内)

環境生活農林水産常任委員会 重点調査項目（過去5カ年）

平成 27 年度

- (1) 性別・国籍等を問わず、すべての人が暮らしやすい社会づくりについて
- (2) もうかる農林水産業と獣害対策について
- (3) 農林水産業の担い手育成について

平成 26 年度

- (1) 文化の振興について
- (2) 大気・水環境の保全と地球温暖化対策について
- (3) もうかる農林水産業と獣害対策について

平成 25 年度

- (1) 新県立博物館と文化振興について
- (2) 大気・水環境の保全と地球温暖化対策について
- (3) もうかる農林水産業と獣害対策について

平成 24 年度

- (1) 新県立博物館について
- (2) 東日本大震災により生じた災害廃棄物の広域処理について
- (3) 森林づくりを含めた地球温暖化対策について
- (4) もうかる農林水産業について
- (5) 獣害対策について

平成 23 年度（防災農水商工・生活文化環境森林）

- (1) 新県立博物館について
- (2) 産業廃棄物対策について
- (3) 農水商工業の振興について